

地震の備え

地震はいつ起こるかわからない災害です。そのため、日頃からの備えが大切です。

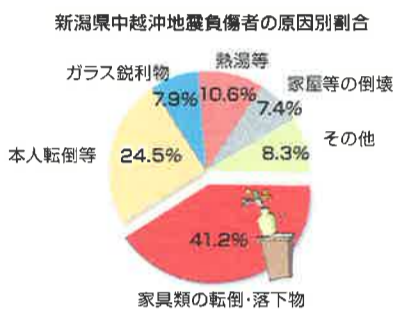
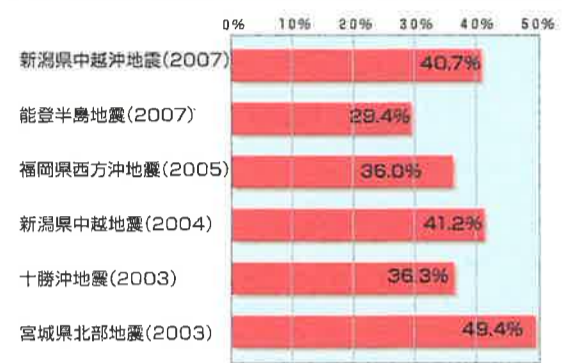
地震の心得

家具類の転倒や落下、建物の倒壊への備えが必要です。また、二次災害にも注意しましょう。

家・家具の転倒に注意！

近年の地震では、けがの原因の約30～50%が家具類の転倒や落下によるものです。自宅の安全を今一度見直してみましょう。

近年発生した地震における家具類の転倒・落下が原因のけが人の場合



上図)東京消防庁:家具類の転倒・落下防止対策ハンドブック(平成20年8月)
左図)内閣府:防災に関しての措置の概況 平成18年度の防災に関する計画 要旨

津波・火災の発生に注意！

強い揺れや、弱くても長くゆっくりとした揺れは津波を引き起こす危険があります。また、火災発生を防ぐためにも地震後にはすぐに火の始末をしましょう。



地震の対策

地震による被害を減らすためにも、自宅の安全環境づくりが大切です。できることから始めましょう。

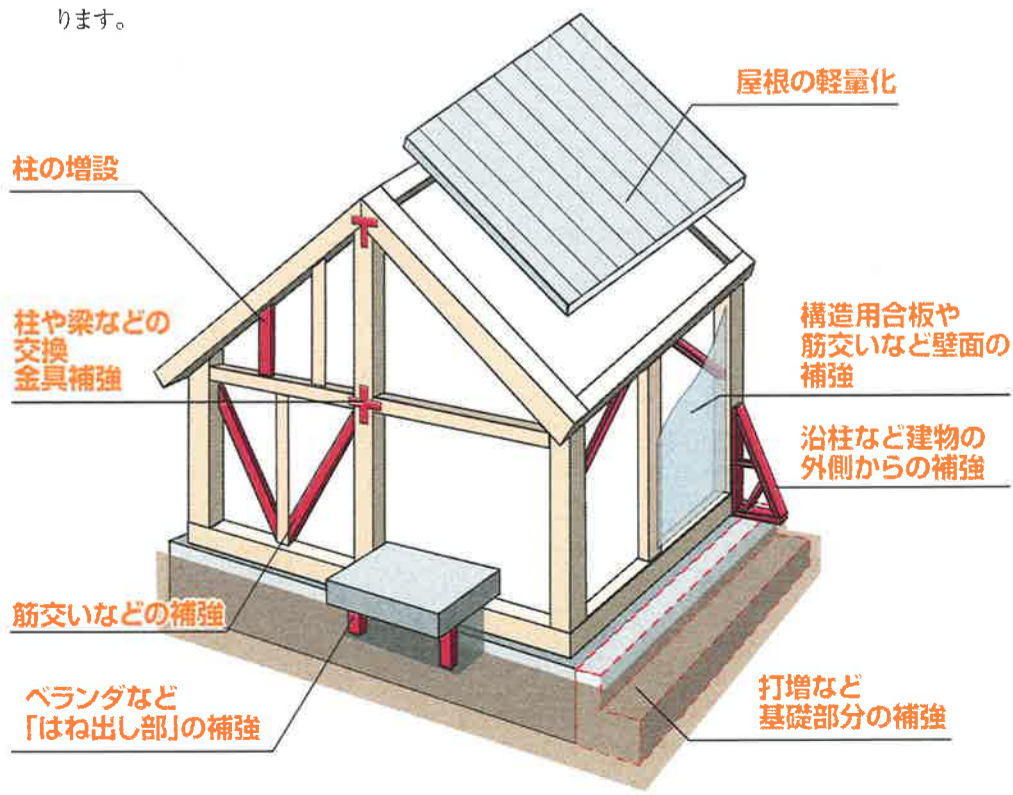
家屋の安全づくり

家の耐震化

耐震基準の満たない家屋は倒壊しやすくなります。昭和56年に建物の耐震基準が変わったため、この年以降に建てられたかどうか、家の強度を知る手がかりとなります。

家周りの点検・補修

ブロック塀などにひび割れや壊れているところがないか点検しましょう。必要に応じて補修をしておきましょう。



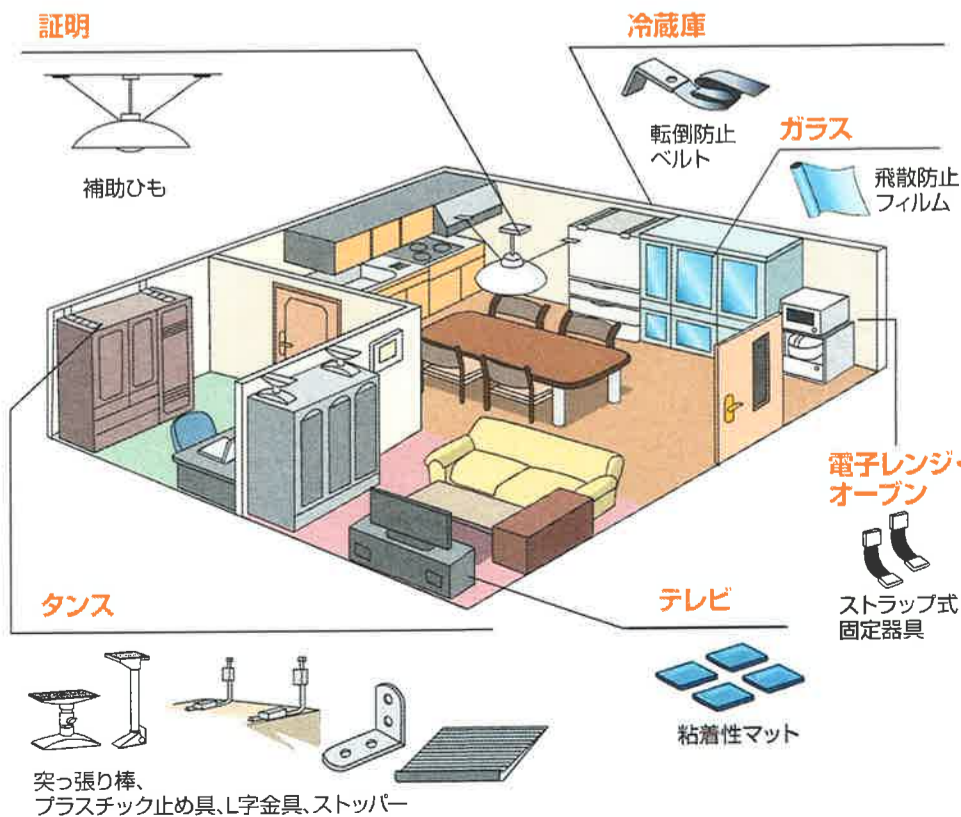
室内の安全づくり

自分でできる家具の固定

事前に家具を固定していても、正しく固定されていないと効果がない場合もあります。適切な固定器具を選んで正しく取り付けましょう。

家具配置の見直し

万が一家具が倒れても安全なように、家具の向きと配置を確認しましょう。倒れた家具が避難経路をふさがないようにすることも大切です。



地震の怖さを知る

強い揺れが起きたときの状況を知り、対策を立てましょう。

震度5弱		棚にある食器類や本が落ちることがあります。
震度5強		固定していない家具が倒れることがあります。
震度6弱		壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがあります。
震度6強		耐震性の低い建物は傾くものや倒れるものが多くなります。
震度7		耐震性の高い建物でもまれに傾くことがあります。

緊急地震速報を聞いたたら！

緊急地震速報が流れてから強い揺れが起こるまで、数秒から数十秒しかありません。周りの人に声をかけながら、周囲の状況に応じ身の安全を確保しましょう。

TOPICS

